

図書館通信

市貝町立図書館

〒321-3423

栃木県芳賀郡市貝町市塙147

Tel 0285-68-4380

URL <https://www.library.ichikai.tochigi.jp/>



ホーム
ページは
こちら



ホームページでも図書館通信を見ることができます

2月のイベント

状況により変更・中止する場合はホームページやX (旧Twitter) で随時お知らせします。

●季節の工作会「ポンポンでひなまつり工作！！」

日時：2月8日（土）14:00～（1時間30分程度）

場所：2階 企画研修室

内容：ひな祭りの工作を楽しみます。

対象：小学生まで（小3までは保護者同伴）

定員：8人

受付：1月7日（火）から募集中

※定員になり次第終了

●いっとくん缶バッジプレゼント

期間：2月11日（火）～2月14日（金）

※なくなり次第終了

内容：資料を3点以上借りた方に

いっとくん缶バッジをプレゼントします。



●古本リサイクル市（一般書・児童書・コミックス）

日時：2月22日（土）9:45～17:00

※午前中のみ10冊まで

2月23日（日）9:30～17:00 ※冊数制限なし

2月24日（月）9:30～15:00 ※冊数制限なし

場所：2階 企画研修室

内容：図書館で除籍となった本・ご家庭の不用本を頒布します。※お持ち帰り用のバッグ等用意ください

お問い合わせ：市貝図書館 ☎68-4380

★歴史民俗資料館のイベント

第53回企画展「いちかいの埋蔵文化財」

期間：2月22日（土）～5月11日（日）

※休館日は図書館に同じ

内容：資料館所蔵の考古学遺物を展示し、古代の文化に触れます。

【お問合せ：生涯学習課（中央公民館）☎68-0020】

X (旧ツイッター)
でも 情報配信中！



市貝町立図書館

『いっとくん』

@ittokun_ichikai

★開館時間 9:30～19:00★



★利用者アンケートへのご協力
ありがとうございました★

1月中に実施したアンケートへのご協力ありがとうございました。自由記入欄にいただいたご意見への回答は、4～5月に館内に掲示し、以降ブログでも紹介する予定です。



★しょうちゃんと遊びま専科
「ティッシュ工作で遊びましょ！」
の参加者を募集します★

当館顧問「しょうちゃん」と一緒に工作を楽しみます。参加ご希望の方はぜひお申込みください。

日時：3月9日（日）14:00～

場所：2階 企画研修室

定員：5組

対象：小学生 ※小3までは保護者同伴

受付：2月6日（木）～ ※定員になり次第終了

申込：カウンター・お電話



図書館カレンダー

2月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28※	

3月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

…休館日 ※月末資料整理日

★芥川賞・直木賞決定★

1月15日に第172回芥川賞・直木賞（2024年下半年）が決定しました。受賞作・候補作ともにぜひ読んでみてください。

受賞作コーナーは1階新刊コーナー奥にあります。貸出中の場合は予約サービスをご利用ください。



★しょうちゃんコレクションが新しくなりました★

当館顧問「しょうちゃん」のコレクションが新しくなりました。今回は「社寺・御朱印の里巡り展」です。

神社などに参拝した印として授かる御朱印。御朱印はいわば「神仏とのご縁の記録」です。今までおよそ30年集めた御朱印コレクションのほんの一部ですが、皆さまにご紹介します。来館の際には、入口付近のしょうちゃんショーケースもぜひご注目ください。



お問い合わせ：市貝図書館 ☎68-4380

今月の スタッフおすすめ本

一般書

「散歩で出会える野鳥」

叶内 拓哉 // 写真・文
(成美堂出版)

冬の庭作業中に「コツコツ ヒッヒッ」と不思議な鳴き声がするので見てみると、お腹がオレンジ色の鳥「ジョウビタキ」がいました。数種類いる「ヒタキ」と付く鳥は、この鳴き声が火打石を叩く音に似ていることから「火焚き→ヒタキ」となったと言われています。また、市貝図書館の周りにはサッカー場がありますが、芝生を悠々と歩いているキジをよく見かけます。

今回紹介する本は、意外にも身近にたくさんいる野鳥が、「街の中・公園・農耕地・山麓・水辺」の5つの場所ごとに紹介されています。気になった鳥をぜひ調べてみてください。散歩がさらに楽しくなるはずです。

(スタッフ：ちょこわんこ)

児童書（中学年向け）

「北極と南極の「へえ～」 くらべてわかる地球のこと」

中山 由美 // 文 写真 秋草 愛 // 絵
(学研プラス)

クイズ形式で北極と南極を比べながらそこに住む生き物や環境について学べる一冊。最近ではこの場所も地球温暖化の影響が出てるとか…。ちなみに北極より南極の方が寒いそうです。理由を知ると「へえ～」ってなりますよ。

(スタッフ：みるく姫)

YA（中高生向け）

「みんなで描こう！黒板アート」

すずき らな // 著
(誠文堂新光社)

卒園式・卒業式・入学式シーズンに黒板をキャンバスにして文字やイラストを描いてみてはいかがでしょうか？基本的な黒板アートの描き方やアイデアを紹介してある本です。アナログだけど黒板いっぱい描いたメッセージアートで心温まってみては…

(スタッフ：パンダみたぞう)

私は、ウォーキングを始めて約3年になります。最初は2,000歩位でしたが、今では毎日5,000歩以上歩くことを目指しています。身体を動かす事が少ない仕事についていたこともあり、歩くということをあまりしませんでした。最近、駅やデパートなど外出する時でも極力エスカレーターを使わず歩くようにしています。体力づくりを意識している訳でもないが、老化は足元からやって来る、歩けなくなるのが介護の入り口、と多くの書物や報道機関で見ているせいもあるかもしれません。図書館の書物などを見ると、「歩く」という行為は、人間の基本動作であるだけでなく、健康増進維持など健康面への効果、気分転換など精神面への効果など多方面への効果をもたらすことが載っています。私自身もそうであったが、歩かない理由として、「疲れている」「痛い」とか「足腰が辛い」などの自覚症状から、つい億劫になってしまいがちでした。また、歩いていると別の楽しみもあります。四季の潤いを肌で感じられるのです。「ウワミスザクラ」が咲いたよ」「合歓の木に花が付いたよ」といった自然とのふれあい。世の中には、健康のために歩いているという人が多いと思いますが、それだけでなく、「歩いているので健康なんです」という発想の転換・頭のスイッチを切り替えることが大切だと思えるようになってきました。

しょうちゃんの
ひやうびん